

## 2. 効率的な生産体制の確立

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
スマート農業に取り組む農 家数（生産流通課）	戸	3	21					21 (累計)

R2年度 実績報告	R3年度 実施計画	担当課
-----------	-----------	-----

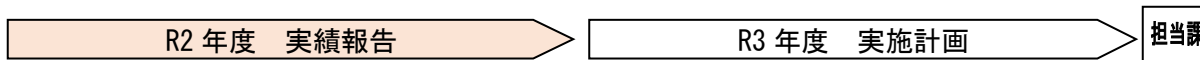
### ①生産施設や機械等の導入支援

<p><b>水田農業担い手機械導入事業</b>            土地利用型農作物の品質向上や低コスト生産を図り、売れる土地利用型農作物づくりと併せ生産コストの低減に取り組む営農組織の育成に要する経費を支援した。            ・補助実績：9件、39,601千円            （県26,397千円、市13,204千円）            ・内容：土地利用型農業のトラクター、コンバイン、田植機、乗用管理機等</p>	<p><b>水田農業担い手機械導入事業</b>            土地利用型農作物の品質向上や低コスト生産を図り、売れる土地利用型農作物づくりと併せ生産コストの低減に取り組む営農組織の育成に要する経費を支援する。            ・補助率：県1/3、市1/6</p>	生産流通課
<p><b>スマート農業推進事業</b>            県の事業を活用し、経営規模の拡大・省力化・所得向上を図るため、ICT技術を活用したスマート農業機械の導入に対して支援を行った。            ・補助率：県1/3、市1/6            ・補助実績：1件、4,634千円            （県3,089千円、市1,545千円）</p>	<p><b>スマート農業推進事業</b></p>	
<p><b>活力ある高収益型園芸産地育成事業 産地生産基盤パワーアップ事業（再掲）</b>  <b>●活力ある高収益型園芸産地育成事業</b>            先進技術や省力機械・施設等の整備を進め、収益性が高い園芸産地の育成を図った。            ・補助実績：60件、271,008千円            （県246,284千円、市24,724千円）            ・主な内容：パイハウス及び附帯施設、播種・施肥用機械など</p> <p><b>●産地生産基盤パワーアップ事業</b>            高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取組を支援した。            ・補助実績：10件（6名）、75,012千円            （県68,194千円、市6,818千円）            ・主な内容：低コスト耐候性ハウス整備など</p>	<p><b>活力ある高収益型園芸産地育成事業 産地生産基盤パワーアップ事業（再掲）</b>            県農林事務所やJAと連携し、野菜の生産量及び品質、収益向上を図るため、ハウスの整備や高性能省力機械の導入等に対して支援を行う。  <b>●活力ある高収益型園芸産地育成事業</b>            ・補助率：県1/2 又は1/3、市1/20</p> <p><b>●産地生産基盤パワーアップ事業</b>            ・補助率：国1/2、市1/20</p>	
<p><b>ふくおかの畜産競争力強化対策事業</b>            畜産農家の飼養規模拡大や畜産物の生産量増加を図るため、畜舎や飼養管理機械等の整備に対して支援を行った。            ・補助実績：21件、35,999千円            （県32,418千円、市3,581千円）</p>	<p><b>ふくおかの畜産競争力強化対策事業</b>            畜産農家の飼養規模拡大や畜産物の生産量増加を図るため、畜舎や飼養管理機械等の整備に対して支援を行う。            ・補助率：県1/2 又は1/3、市1/20</p>	

R2 年度 実績報告	R3 年度 実施計画	担当課
<p><b>農業機械・施設災害復旧支援事業（災害）</b> 大雨等により被災したハウス施設や農業用機械の再取得、修繕等に係る経費を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設復旧 補助率：国 3/10、県 5/10 実績：153 件、34,432 千円</li> <li>・機械復旧 補助率：国 5/10、市 3/10 実績：68 件、61,809 千円</li> <li>・災害回避（台風含む） 補助率：県 5/10、市 3/10 実績：25 件、26,807 千円</li> </ul>	<p><b>農業機械・施設災害復旧支援事業（災害）</b></p> <p style="text-align: center;">繰り越し事業</p>	生産流通課
<p><b>畜産業機械・施設災害復旧支援事業（災害）</b> 大雨により被災した畜産施設の再取得や修繕費等に要する経費を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設復旧 補助率：国 3/10、県 5/10</li> <li>・機械復旧 補助率：国 5/10、市 3/10</li> </ul>	<p><b>畜産業機械・施設災害復旧支援事業（災害）</b></p> <p style="text-align: center;">繰り越し事業</p>	
<p><b>スマート農業推進強化事業（コロナ）</b> 新型コロナウイルスの感染拡大に対応する「新しい生活様式」を踏まえ、農業における作業員間の感染防止、人との接触機会を減らすスマート農業を推進するため、高性能省力機械等の導入に係る経費を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助率：県 1/2、市 1/20</li> <li>・補助実績：20 件、69,384 千円 (県 62,176 千円、市 7,208 千円)</li> </ul>	<p><b>スマート農業推進強化事業</b></p> <p style="text-align: center;">繰り越し事業</p>	
<p><b>制度資金の利子補給</b> 機械等を導入する場合に活用する農業経営体育成資金（スーパーL）や、災害復旧等に対する制度資金に対し、利子の助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業経営体育成資金（L 資金） 補助実績：16 件、255 千円 (県 127 千円、128 千円)</li> <li>・災害復旧資金 補助実績：1 件、2 千円</li> <li>・稲作経営安定資金 補助実績：3 件、2 千円</li> </ul>	<p><b>制度資金の利子補給</b> 農業経営体育成資金（スーパーL）や農業近代化資金、災害復旧等に対する制度資金について、利子の助成を行う。</p>	農政課

### 3. 安全で安定的な農産物の提供

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
GAP を取得した農業団体等の数 (生産流通課)	団体	6	6					12 (累計)
有害鳥獣による農産物被害額 (農村森林整備課)	千円	36,755	38,981					33,080



#### ①安全な農産物の生産

<p><b>GAP推進事業</b>            食品安全、環境保全、労働安全等を考慮した生産工程管理の取り組みであるGAPの認証取得等に係る費用を支援した。            ・補助実績：[県GAP] 1件、200千円</p> <p><b>環境保全型農業直接支払事業</b>            環境保全に効果の高い営農活動（カバークロップ、堆肥の施用、有機農業）に対して支援を行った。            ・補助実績：11件、7,732千円</p> <p><b>農薬安全使用講習会</b>            高濃度な農薬が検出された久留米産農産物の再発防止等のため、農産物出荷者を対象とした農薬安全使用講習会を実施した。            ・受講者数            JAくるめ 759名            JAにじ 557名            JAみい 349名            JAみづま 1,026名            JA大城 463名            (事業主体：各地域農薬安全使用対策会議)</p>	<p><b>GAP推進事業</b>            食品安全、環境保全、労働安全等を考慮した生産工程管理の取組であるGAPの認証取得等に係る費用を支援する。            ・補助率：1/2（上限500千円）</p> <p><b>環境保全型農業直接支払事業</b>            化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を支援する。            ・補助率：国1/2、県1/4、市1/4</p> <p><b>【新規】久留米産農産物の安全性向上事業</b>  <b>●農薬安全使用対策協議会支援事業費補助金</b>            市、県、JAで組織する農薬対策協議会における農薬安全使用に係る取り組みを支援する。</p> <p><b>●残留農薬自主検査支援事業費補助金</b>            JA、出荷組合・団体、認定農業者等が新たに実施する残留農薬自主検査への取り組みを支援する。            ・補助率：1/2            ・上限：300千円/団体、100千円/個人</p>	生産流通課
--	---	-------

#### ②安定的な農産物の生産

<p><b>災害回避に向けた啓発・促進</b>            活力ある高収益型園芸産地育成事業の活用などを通して、災害回避に向けた啓発・促進に取り組んだ。</p> <p><b>野菜価格安定対策事業</b>            野菜の生産が、自然環境などの影響で市場価格が大きく下落した場合に補填を行った。  <b>●特定野菜等供給産地育成価格差補給事業</b>            ・補助実績：1団体（JAみい）            春菊、三つ葉、ニラ、水菜 455千円  <b>●野菜生産出荷安定事業</b>            ・補助実績：2団体（JAみい、JA福岡大城）            小松菜、青ねぎ 828千円            (事業主体：ふくおか園芸農業振興協会)</p>	<p><b>災害回避に向けた啓発・促進</b>            県の事業を活用し、浸水防止壁の設置等に対する支援を行うなど、災害回避に向けた啓発・促進に取り組む。</p> <p><b>野菜価格安定対策事業</b>            国の事業を活用し、野菜の生産が、自然環境などの影響で市場価格が大きく下落した場合に補填を行う。  <b>●特定野菜等供給産地育成価格差補給事業</b>            ・資金造成割合：国1/3、県1/3、市1/15、  <b>●野菜生産出荷安定事業</b>            ・資金造成割合：県4/10、市1/10、JA 1/10            (事業主体：ふくおか園芸農業振興協会)</p>	生産流通課
--	--	-------

R2 年度 実績報告	R3 年度 実施計画	担当課
<p><b>農業共済への加入促進</b> 収量減少、自然災害などのリスクに対し農業者自ら備えるよう、補助事業実施者等に対し加入促進に努めた。</p>	<p><b>農業共済への加入促進</b> 収量減少、自然災害などのリスクに対し農業者自ら備えるよう、加入啓発・促進に取り組む。</p>	生産流通課
<p><b>収入保険制度</b> 収量減少、自然災害などのリスクに対し農業者自ら備えるよう、加入促進に向けた支援制度の検討を行った。</p>	<p><b>収入保険制度</b> 収量減少、自然災害などのリスクに対し農業者自ら備えるよう、加入啓発、促進に取り組む。</p>	

### ③有害鳥獣広域防除対策事業

<p><b>有害鳥獣広域防除対策協議会補助</b> 久留米地区有害鳥獣広域防除対策協議会による侵入防止柵の設置や捕獲活動の支援を行った。 ・事業費：6,079千円（市補助4,530千円） ・主な捕獲実績：イシ 250頭 カラス 583羽</p>	<p><b>有害鳥獣広域防除対策協議会</b> 久留米地区有害鳥獣広域防除対策協議会による侵入防止柵の設置や捕獲活動を支援する。 ●有害鳥獣広域防除対策協議会補助 事業費：6,362千円（市補助4,530千円） ●鳥獣被害防止総合対策整備事業 事業費 2,244千円（国補助2,243千円） 事業内容：電気柵 3戸 400m ワイヤー柵 14戸 2,120m</p>	農村森林整備課
<p><b>鳥獣被害防止総合対策整備事業費補助</b> 市内の農林作物をイシ、カラス等の被害から防除するため電気柵や防護柵の設置補助を行った。 ・補助実績：17戸 2,515千円（定額） ・事業内容：電気柵 3戸 1,150m ワイヤー柵 14戸 3,130m</p>		
<p><b>鳥獣被害対策実施隊</b> 鳥獣被害対策実施隊により、市内全域において農作物被害防止のために、侵入防止柵の設置指導や生息調査、被害調査等及び緊急捕獲を行った。 ・被害調査件数：47件</p>	<p><b>鳥獣被害対策実施隊</b> 鳥獣被害対策実施隊により、市内全域において農作物被害防止のために、侵入防止柵の設置指導や生息調査、被害調査等及び緊急捕獲を行う。</p>	

### ④卸売市場の施設整備

<p><b>主な改修工事</b> 青果部低温売場(野菜)冷却機改修工事 (事業費 19,814千円) 水産物部買荷保管所塗装改修工事 (事業費 4,429千円) 関連事業所棟解体修工事 (事業費 3,668千円)</p>	<p><b>主な改修工事</b> 青果部事務所棟空調設備改修工事 (予算 50,324千円) 青果部低温倉庫シートシャッター改修工事 (予算 28,270千円) 新物流センター冷蔵庫冷却機改修工事 (予算 25,834千円)</p>	中央卸売市場
--	--	--------

## 【R3 年度施策の方向性】

### 基本施策Ⅱ 生産性・収益性の高い農業経営の実現（農業の魅力促進課・生産流通課・農村森林整備課）

#### 《生産振興の強化》

土地利用型農業においては、生産農家の経営安定を図るために、国の経営所得安定対策等を活用し、米・麦・大豆・飼料用米等の生産を支援するとともに、需要に応じた米の生産を図っていく。

また、収益性の高い農業を推進するため、国・県事業を積極的に活用し、農業機械の導入や施設整備への支援を行うとともに、ICT 技術を活用したスマート農業を推進し、経営規模の拡大・省力化を進め、生産者の所得向上を図っていく。

さらには、花きや緑花木の持つ癒しや魅力の情報発信に取り組み、各生産団体が行う販路拡大や栽培技術の向上に資する取組に対して、引き続き支援を行い、生産振興を図っていく。

#### 《安全で安定的な農産物の提供》

市内の農産物をイノシシ・ドバト・カラス等の被害から守るため、農業生産者や猟友会、市で構成された「久留米地区有害鳥獣広域防除対策協議会」で有害鳥獣からの適正な防除やその駆除を実施する。

また、令和2年12月の残留農薬基準値事案の発生を受け、再発防止と久留米産農産物の安心・安全に係る取組を強化するため、農業団体や県・市で構成された「農薬安全使用対策協議会」等が取り組む農薬安全使用講習会の開催を支援するとともに、農業団体や生産者等が行う残留農薬の自主検査等の取組を支援していく。

## 【基本施策Ⅲ】 持続可能な生産基盤の確立

将来にわたって生産効率の高い営農を維持・向上するため、農業生産基盤の整備や長寿命化対策を進めるとともに、災害を未然防止・減災するための農業施設の整備・改修に取り組みます。

また、農地の有効利用を促進するとともに、農業・農村の持つ多面的機能の維持・発揮を図ります。

### 1. 生産基盤の整備と防災・減災対策の推進

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
ため池や排水機場等の整備・改修件数(農村森林整備課)	施設	—	0					8 (累計)

R2 年度 実績報告	R3 年度 実施計画	担当課
------------	------------	-----

#### ① 農業生産基盤の整備・改修

<p><b>農業水利施設保全対策事業</b> 国・県営土地改良事業により造成された農業用水利施設について、施設の長寿命化の観点により、的確な予防保全を実施した。 ・実施地区数：7 地区 ・主な施設：揚水機場・ゲート・排水機場・用水路 ・事業費：205,448 千円 ・地元負担金：51,362 千円</p>	<p><b>農業水利施設保全対策事業</b> 国・県営土地改良事業により造成された農業用水利施設について、施設の長寿命化の観点により、的確な予防保全を実施する。 ・実施地区数：8 地区 ・主な施設：揚水機場・ゲート・排水機場・用水路 ・事業費：187,292 千円 ・地元負担金：46,823 千円</p>	農村森林整備課																							
<p><b>農地防災事業</b> ため池・用排水施設・井堰等の改修等を行い、洪水による災害の未然防止を図った。 ・県営農地防災事業負担金：27,632 千円 ・県営水利施設整備事業負担金：81,164 千円</p>	<p><b>農地防災事業</b> ため池・用排水施設・井堰等の改修等を行い、洪水による災害の未然防止を図る。 ・県営農地防災事業負担金：16,395 千円 ・県営水利施設整備事業負担金：25,000 千円</p>																								
<p><b>生産基盤整備事業</b> 国営土地改良事業の一環として、利水施設の改良、ほ場・農道・用排水路整備等を実施し、農業生産の向上及び農地利用の集積を図った。 ・住吉地区農業経営高度化促進事業費補助金 補助率：国 1/2、市 1/2 補助実績：41,780 千円 (国 20,890 千円、市 20,890 千円)</p>	<p><b>生産基盤整備事業</b> 国営土地改良事業の一環として、利水施設の改良、ほ場・農道・用排水路整備等を実施し、農業生産の向上を図る。 ・ほ場整備事業推進中地区 山本町耳納</p>																								
<p><b>農業用施設整備事業</b> 農業振興を図る地域において、道路・用排水路を整備することで、高生産性農業の促進、農業の近代化及び農村環境の改善を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>箇所数</th> <th>整備延長(m)</th> <th>事業費(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農道</td> <td>9</td> <td>2,950</td> <td>58,380</td> </tr> <tr> <td>用排水路</td> <td>7</td> <td>1,189</td> <td>41,290</td> </tr> </tbody> </table>	工種		箇所数	整備延長(m)	事業費(千円)	農道	9	2,950	58,380	用排水路	7	1,189	41,290	<p><b>農業用施設整備事業</b> 農業振興を図る地域において、道路・用排水路を整備することで、高生産性農業の促進、農業の近代化及び農村環境の改善を図る。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>箇所数</th> <th>整備延長(m)</th> <th>事業費(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農道</td> <td>8</td> <td>2,165</td> <td>46,134</td> </tr> <tr> <td>用排水路</td> <td>12</td> <td>1,199</td> <td>76,000</td> </tr> </tbody> </table>	工種	箇所数	整備延長(m)	事業費(千円)	農道	8	2,165	46,134	用排水路	12	1,199
工種	箇所数	整備延長(m)	事業費(千円)																						
農道	9	2,950	58,380																						
用排水路	7	1,189	41,290																						
工種	箇所数	整備延長(m)	事業費(千円)																						
農道	8	2,165	46,134																						
用排水路	12	1,199	76,000																						

R2年度 実績報告	R3年度 実施計画	担当課
<p><b>防災重点農業用ため池対策事業</b></p> <p>防災重点農業用ため池について、「緊急時の迅速な避難行動につなげる対策」や「施設機能の適切な維持、補強に向けた対策」を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助率：国 10/10</li> <li>補助実績 ハザードマップ作成業務【新規】 81箇所、38,330千円 耐震調査業務【新規】 4箇所、28,181千円</li> </ul>	<p><b>防災重点農業用ため池対策事業</b></p> <p>防災重点農業用ため池について、「劣化状況評価」や「地震・豪雨耐性評価」を特別措置法期間内に実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助率：国 10/10</li> <li>劣化状況評価業務【新規】 15箇所</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">前年度繰越事業</div>	農村森林整備課

## 2. 農地の有効利用の促進

指標項目	単位	現状値 (H30)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R7)
耕作放棄地の面積 (農業委員会)	ha	104	104					95
認定農業者等の農地利用集積率 (農政課)	%	54	57					60

R2年度 実績報告	R3年度 実施計画	担当課
-----------	-----------	-----

### ① 荒廃農地の発生抑制と解消

<p><b>農地パトロールの実施</b></p> <p>地区担当の推進委員、農業委員、市及び事務局職員合同で、道路からの目視や立ち入りによる調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実施期間：R2.8.18～R2.9.23</li> </ul>	<p><b>農地パトロールの実施</b></p> <p>関係機関等と連携し農地パトロールを行い、現状や課題の把握を行う。</p>	農業委員会
<p><b>荒廃農地再生事業費補助金事業</b></p> <p>荒廃農地を再生し、農地として利活用する認定農業者等に支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助実績：4件、131.6a、4,000千円</li> </ul>	<p><b>荒廃農地再生事業費補助金事業</b></p> <p>荒廃農地を再生し、農地として利活用する認定農業者等の支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助率：1/2（上限1,000千円）</li> </ul>	農政課
<p><b>農地利用の最適化</b></p> <p>国の農地台帳システムが本格稼働し、利用権設定など担い手への集約化のための有効活用を図った。</p> <p>耕作放棄地解消に向けた現状と解消方法については、関係機関による協議会を開催し、情報の共有化を図った。</p>	<p><b>農地利用の最適化</b></p> <p>システムを活用し、担い手への農地の集約化を推進することで耕作放棄地の発生防止に努めるとともに、農地利用最適化協議会において、関連機関で情報の共有化を図り、耕作放棄地の解消に努める。</p>	農業委員会

## ②農地の集積・集約化

<p><b>農地中間管理事業</b> 農地賃借の受け皿である「農地中間管理機構」を活用した、担い手への農地の集積・集約化を支援した。</p> <p>●<b>経営転換協力金</b> 経営転換やリタイアする農家、農地の相続人などが機構に農地を貸し付ける場合に、貸付面積に応じて協力金を交付した。 ・補助実績：10人、407a、611千円</p> <p>●<b>地域集積協力金</b> ・実績なし</p> <p>●<b>農地貸付協力金</b> ・実績なし</p> <p>●<b>規模拡大支援金</b> 集落営農法人等が機構を通じて、非担い手から農地を借り受ける場合、借地面積に応じて交付した。 ・補助実績：4団体、425a、638千円</p>	<p><b>農地中間管理事業</b> 農地賃借の受け皿である「農地中間管理機構」を活用し、担い手への農地の集積・集約化を推進する。</p> <p>●<b>経営転換協力金（国事業）</b> リタイアや部門減少する農家の機構への貸付面積に応じて交付する。 ・補助額：1.5万円/10a(上限50万/戸)</p> <p>●<b>地域集積協力金（国事業）</b> 地域の農地面積に占める機構への貸付割合に応じて交付する。 ・補助額：0.5～2.8万円/10a</p> <p>●<b>農地貸付協力金（県事業）</b> 新たに担い手に貸付ける農地の合計面積が1ha以上の農地を含む地域に交付する。 ※国の経営転換協力金及び地域集積協力金との重複は不可。 ・補助額：0.5万円/10a(上限10万/地域)</p> <p>●<b>規模拡大支援金（県事業）</b> 集落営農法人等が機構を通じて、非担い手から農地を借り受ける場合、借地面積に応じて交付する。 ・補助額：1.5万円/10a</p>	農政課・生産流通課
<p><b>土地利用型認定農業者等経営安定対策事業</b> 生産調整対象水田の利用権を新規設定した認定農業者等に対する支援を行った。(利用権設定期間6年以上) ・補助率(額)：8千円/10a、 ・補助実績：74件、574千円</p>	/	農業委員会

## ③優良農地の確保

<p><b>農用地利用計画の一部変更</b> 農振法の規定等に基づき、適切に整備計画の変更を行った。 ・R2年度除外18件10,140㎡</p>	<p><b>農用地利用計画の一部変更</b> 農振法の規定等に基づき、農地の確保を図りながら、適切な整備計画の管理と、申し出に対する一部変更を行う。</p>	農政課
--	--	-----